

各 位

公益財団法人 日本卓球協会

ラージボール卓球ルールの改定について

標記の件につきまして改定となりましたのでお知らせいたします。

現行のラージボール卓球ルールは、次のとおりレクリエーション用と競技用の2章立てとなっています。

〈第1条目的〉

①第2章基本ルール

幅広く卓球の普及とともにレクリエーションとして卓球を楽しむことを目的とした諸規則。

②第3章競技ルール

JTTAが主催または主管する競技大会で適用される諸規則を定めた。

その他の団体が主催するラージボール競技会にも適用し、競技を行うことが望ましい。

このことにより、レクリエーションとして楽しむ選手やリハビリテーションには、現行どおりとなり、JTTA主催大会等に参加する競技者には、静止の厳守、投げ上げ高さの不足による「ぶっつけサービス防止」等がルール化され、審判も公平・公正なルールにより明確にジャッジできるようになります。

以上により平成29年度第3回理事会により平成30年度より開催されます「全日本ラージボール卓球選手権大会」、「全国ラージボール大会」は、競技ルールを下記のような「**競技大会ルール**」と名称を改め承認されました。特に各都道府県で、ご出場される選手に対しまして追加される2点をご周知いただきますようお願い申し上げます。

現行ルール (H24. 4. 1改定)	改 定
(目的) 第1条 このルールは、日本卓球ルールに規定したボールの寸法をラージサイズとしたボール(ラージボール)を使用するラージボール卓球ルールとして制定する。 2 「第2章基本ルール」では、幅広く卓球の普及とともにレクリエーションとして卓球を楽しむことを目的とした諸規則を、「第3章競技ルール」では、JTTAが主催または主管する競技大会で適用される諸規則を定めた。なお、その他の団体が主催するラージボール競技会にあっても「第3章競技ルール」を合わせ適用して競技を行うことが望ましい。 第2章 基本ルール 第3章 競技ルール	(目的) 第1条 このルールは、日本卓球ルールに規定したボールの寸法をラージサイズとしたボール(ラージボール)を使用するラージボール卓球ルールとして制定する。 2 「第2章 レクリエーションルール 」は、幅広く卓球の普及とともにレクリエーションとして卓球を楽しむことを目的とした諸規則を、「第3章 競技大会ルール 」では、JTTAが主催または主管する競技大会で適用される諸規則を定めた。なお、その他の団体が主催するラージボール競技会にあっても「第3章 競技大会ルール 」を合わせ適用して競技を行うことが望ましい。 第2章 レクリエーションルール 変更しない(13ポイント勝ちが残る) 第3章 競技大会ルール 現行ルールに次の項目を追加する。 ① 競技方法 10:10以降は、2ポイント差とする。 ② サービス 2~3秒静止する。 16cm以上あげる

公布日 平成 30 年 3 月 1 日
改定年月日 平成 30 年 4 月 1 日

以上

各クラブ代表者御中

山形県ラージボール卓球連盟
会長 武田 芳 男

現行のラージボール卓球ルールが、平成30年4月より改定される事になり、連絡事項として改定される内容を、ご案内申し上げます。

改定内容

第2章 レクリエーションルールは変更しない。(13ポイント勝ち)

第3章 競技大会ルール

①競技方法 10:10以降は、2ポイント差とする。

②サービス 2~3秒静止する。

16cm以上あげる

上記になりますので、各クラブ員に、徹底していただくようお願い致します。
別紙は日本卓球協会よりの改定内容です。

* 連盟主催の大会は、競技大会ルールにて行ないます。

(県健康福祉大会、県スポ・レク祭は、レクリエーションルール予定)

* 大会要項には、競技大会ルール、レクリエーションルール、のどちらで行なうかは、しばらくは明記していきます。

追伸

先日、案内申し上げた、第7回山形県選手権大会ラージボール団体の部から、競技大会ルールにて行ないますので、意識してサービスを、2~3秒静止し、16cm以上上げて行なえる様に練習して、大会に参加していただく事を、お願い致します。